

令和4年度 第4学年 学級経営案

学 校 教 育 目 標								
ふるさとを愛し、一人一人が輝く徳・知・体の調和のとれた児童の育成 【かしこく】進んで学び、よく考える児童 【なかよく】思いやりをもち、助け合う児童 【元気よく】礼儀正しく、ねばり強い児童								
学 級 目 標								
○色々な創意工夫（知）・・・様々な方法を考え、課題に向かう児童 ○なかよく協力（徳）・・・思いやりがあり、誰にでも親切にする児童 ○なんどでも挑戦（体）・・・失敗にくじけず、粘り強く取り組む児童								
具 体 的 な 取 組					評 価			
					I	II	III	
かしこく	1	朝学習でドリル学習を取り入れ、自分の成長を感じながら、基礎学力が定着するようにする。						
	2	当該学年だけでなく、3年生以前の漢字にも取り組み、語彙を増やしつつ、漢字への理解を高める。						
	3	見通しをもった学習ができるよう、授業の初めに前時の振り返りを行う。						
	4	様々な視点を増やすために、授業で意識的に問い返しを行ったり、様々な考えを交流する場を設けたりする。						
	5	単元ごとに学習の振り返りを行い、「何ができるようになったのか」を意識できるようにする。						
	6	黒板に残す情報と、電子黒板に投影する情報を事前に検討し、視覚的にわかりやすい授業に努める。						
なかよく	1	「特別の教科 道徳」の発問や板書の精選・工夫を行い、児童が自分の考えをもち、伝えることのできる授業を行う。						
	2	毎日学級の全児童と会話するよう心がけ、児童の変化に気付くようにする。						
	3	帰りの会で友達の頑張りや良さを発表する場を設け、互いに認め合う雰囲気作りを行う。						
	4	生活目標をもとに学級の合言葉を決め、協力し、教えあいながら達成できるように声掛けを行う。						
元気よく	1	スポーツテストの結果分析を行い、児童が苦手とする項目を補う運動を積極的に体育の学習に取り入れる。						
	2	毎朝の健康観察を確実に行き、健康状態の把握に努める。						
	3	外遊びの機会を充実させ、児童と一緒に遊ぶ機会や、全員遊びの場を設ける。						
郷土愛	1	社会科の学習を通して、熊本県や湯前町についての理解を深め、地域のよさに 気付くようにする。						
	2	総合的な学習の時間を活用し、身の周りの暮らしについて工夫を発見し、よりよくしようとする態度を育てる。						
	3	行事等で地域の方々と交流する機会を大切にし、交流の意義やよさを感じさせる。						
学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）								

